

第 216 号 2006年 4 月 30 日

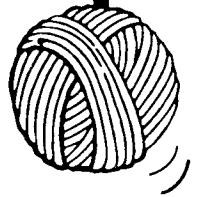
# 家計簿通信

編集・発行／  
広島県生活協同組合連合会  
くらし・消費者委員会  
〒730-0012  
広島市中区上八丁堀8番23号  
林業ビル4F

TEL082-502-3850 FAX082-502-3860  
E-mail: kenren.h@proof.ocn.ne.jp  
URL http://kenren.jccu.coop/hiroshima/

## 税・社会保険料しらべ 2005

～消費税負担の逆進構造顕著～



2004年、消費税の総額表示が導入されて2年が経過しました。買い物に5%を計算する煩わしさからは開放されたものの、普段の買い物の中では消費税を支払っているのだという実感が薄れつつあります。

調査世帯数：79世帯  
平均収入：782万円  
平均年齢：46歳  
平均家族数：3.8人

さて、今年も生計費モニターのご協力を得て、税・社会保険料しらべを行いました。現在、政府では消費税率アップも視野に入れた税制の見直しが進んでいるようです。委員会では、消費税率が2%、もしくは5%引き上げられたらどうなるかなのか試算してみました。

### 《年間消費税 169,619円 収入に占める割合 2.1%》

年間の消費税負担は平均169,619円で収入に占める割合は2.1%です。(グラフ①参照) 低所得者層ほど負担率が高くなる逆進的な構造になっています。生計費モニターの平均消費税額(年間)をもとに税率が上がった場合の負担を試算すると、  
現行(5%)…169,619円(年間) ですから

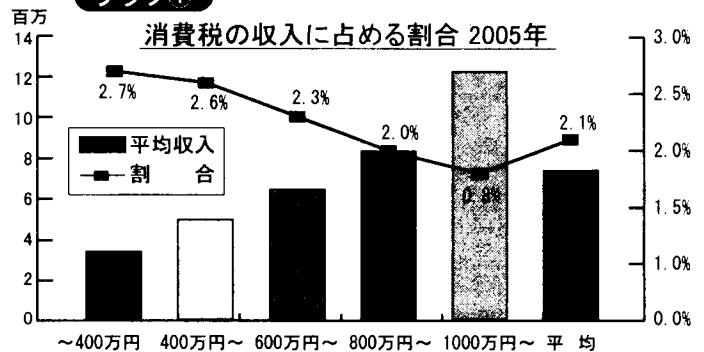
7%になると ⇒ 237,467円(約6.8万円の負担増)

10%になると ⇒ 339,238円(倍増)

となります。ちなみに生計費モニターの1ヶ月の食費は、6.3万円です。みなさんはこの数字をどのように受け止めますか？

グラフ①

消費税の収入に占める割合 2005年



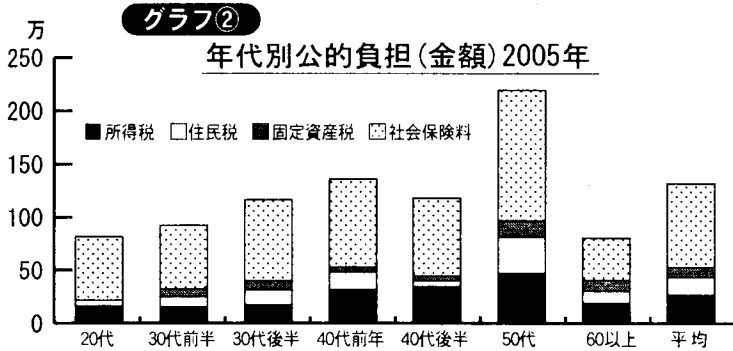
区分	~400万円	400万円~	600万円~	800万円~	1000万円~	平均
平均収入	3,624,440	5,303,899	6,894,665	8,907,967	13,103,711	7,901,333
年間消費税額	99,252	137,734	155,932	182,386	239,188	169,619
割合	2.7%	2.6%	2.3%	2.0%	1.8%	2.1%

### ＜モニターの声＞

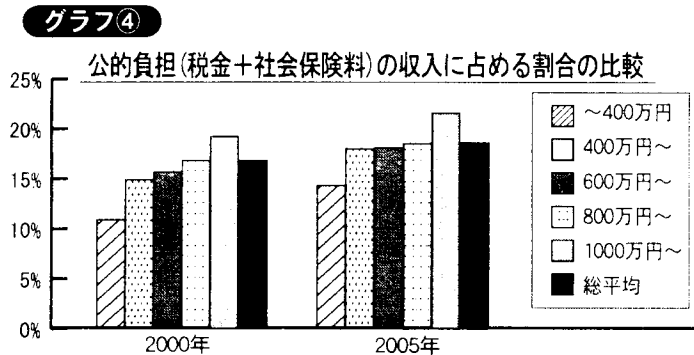
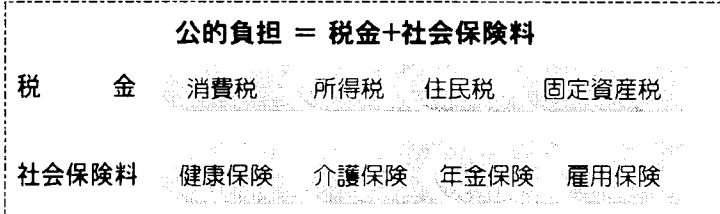
消費税調べにはじめて取り組みました。まさか、10万円近く払っていたなんて…。近いうちに10%かそれ以上になるともいわれていますが、倍になると20万円?! これ以上になると本当に苦しいです。

1989年に3%の消費税が導入されて、私たち消費者は驚くと同時に「どうして余分に支払わなければならないのだろうか」と友人たちとよく議論したものだ。やがて時が経ち3%の消費税に慣れたころの1997年さらに2%アップして5%に上がった。このときも消費者は「どうして? どうして!？」と腹立たしさを覚え、買い控える者もいた。そして、2004年4月に総額表示の導入。はじめは支払うお金は同じなのに値上りした感じもしたのだが。このように憤りが「慣れ」に変わり、いつしか「当たり前」(?) になった…。

《社会保険料 788,320円 収入に占める割合 10%》

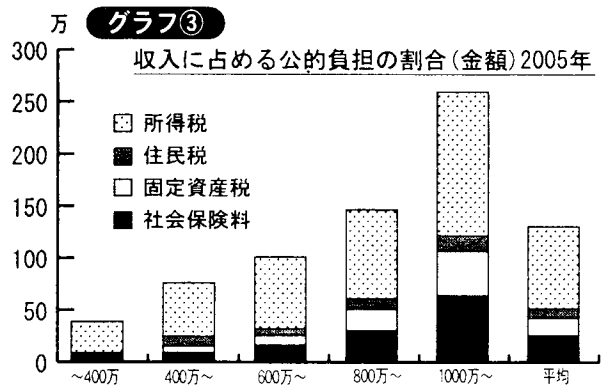


	20代	30代前半	30代後半	40代前半	40代後半	50代	60以上	平均
所得税	148,552	138,350	158,916	301,446	182,682	454,598	174,659	253,695
住民税	55,550	99,050	141,270	164,878	123,864	345,342	116,661	168,712
固定資産税	0	70,800	87,207	93,474	47,331	153,265	99,788	91,839
社会保険料	599,050	599,378	761,749	801,001	830,909	1,225,902	398,978	788,320
合計	803,152	907,578	1,149,141	1,360,798	1,184,786	2,179,107	790,086	1,302,566



	~400万円	400万円~	600万円~	800万円~	1000万円~	平均
2000年	10.9%	14.9%	15.7%	16.8%	19.2%	16.6%
2005年	14.3%	18.0%	18.1%	18.5%	21.6%	18.6%

社会保険料は、モニターが毎年一定ではないので前年との比較は難しいのですが、昨年と『収入に占める社会保険料の割合』を比較すると、平均で9.44%から10%へと0.56ポイント高くなっています。これを金額に直すと平均37,265円アップしたということになります。



	~400万	400万~	600万~	800万~	1000万~	平均
所得税	62,175	88,273	162,861	300,715	636,162	253,695
住民税	21,100	63,252	92,284	208,065	429,152	168,712
固定資産税	2,667	92,979	65,309	98,153	149,558	91,839
社会保険料	300,430	514,233	689,118	856,640	1,378,604	788,320
合計	386,430	758,737	1,009,572	1,463,573	2,593,476	1,302,566

2005年の公的負担の収入に占める割合の総平均は18.64%で、2000年の総平均と比較すると1.84ポイント高くなっています。これは5年の間に厚生年金の保険料率アップや2000年にスタートした介護保険料の改正などが背景にあると思われます。

**税・社会保険料しらべに取り組んで……**

委員会では税金の使い道などについて話し合う中で、話題(?)の『ニート』についての意見が出ました。また、将来、自分たちが払い込んだ公的年金が受給できるのだろうか……という不安の声も上がりました。

ニートの増加が社会問題になっています。フリーターと異なって、就職する意志がなく職業経験(訓練)がないニートは、頼りにしている親が年金暮らしになってしまうと生活保護受給者になってしまうかもしれません。労働意欲のまったくない人に生活保護という名目の補助、おかしいと思います。生活保護は本来、働きたいのに訳あって働けない人、一生懸命がんばっているのに収入が少なく補助してもらわなければならない人、そういう人の為にあるはずですが、私たちが払っている税金、消費税upうぬぬの議論も大切かもしれませんが、国は本当に困っている人の為にお金をつかうべき。その使い道に私たちはもっと厳しく目を向けて、納得できる使い方になるよう関心を持つとうではありませんか。声に出さない世の中変わりませんよ。(H.S)

NEET (ニート・無業者 Not in Employment, Education or Training)

「職に就いておらず、学校等の教育機関に所属せず、就労に向けた活動をしていない15 - 34歳の未婚の者」をいう。34歳までというのは就職して年金受給資格を得られる25年分の払い込みが出来る最後の年齢であるため。現在、広島県内で約1万人、全国で52万人のニートがいるといわれている。



# かけいぼのこえ



## 電気代の高さにびっくり

電気代の高さにびっくり。いくら冬でも2万円を越したのは問題。いろいろ考えた結果、パソコンの使用を見直すことにしました。結構、待機電力を使っていたのです。使用時間に気をつけようと思います。(31歳)

## まずは運動から

2度目の人間ドックに入りました。前回言われていた「体脂肪を減らすこと」は、守られないまま2度目を受けたので、また同じことをいわれてしまいました。まだ結果はでていませんがとりあえず体脂肪を減らす運動をしなくては…と思います。(42歳)

## ちょっとの手間で還付金

私の確定申告から引かれていた所得税を確定申告で取り戻した(!?)。少ない給料から引かれたわずかな所得税だがちょっとの手間で返してもらえるのだから申告しないと損。(40歳)

## 課題が見えてきました

集計をはじめて2回目。食費が少しかかりすぎかなーと思っています。材料を無駄にしまうことはないの何を見直したらよいか、今後の課題が見えてきました。(39歳)

## ライフプランを立てました

先日、生協で保険を見直してもらいました。その際、「月々の食費はいくらですか?」「水光熱費は?」など聞かれ、家計簿2ヶ月目の私はしどろもどろですが、何とか答えることができホッとしました。これから先のライフプランを立てながら、教育費や結婚費用(子どもの)、老後の生活費などまだまだお金がかかるんだと再認識しました。家計簿をつけることにより、収支を把握しこれからもがんばっていきます。(34歳)

## とりあえず加工食品を減らします

先日、生協の試食会に参加しました。食の安全性や生産者のお話を聞いて、食費を削ることだけ

考えていた私は、「うーん」と考えさせられました。試食はどれもおいしくて、いろいろ注文してみたいと思ったのですが、やはり現実にそうもいなくて…。とりあえず加工食品(出来合いの惣菜・冷凍食品)を減らすことからがんばろうと思います。(34歳)

## 水はただなのに…

わが家は井戸水なのでいわゆる水道代は0円なのですが、井戸水に含まれる鉄分のせいで給湯器が2年くらいのサイクルでだめになります。水道代0円の代償なのかとあきらめて取り替えますが、約5万円は痛い出費です。(37歳)

## 遠征試合は食費がかかる?

今月、食費が多いのは日曜日ごとに子どものスポーツ少年団の遠征試合があり、朝6時の集合なので朝食も昼食もコンビニになり、帰宅も日没のころなので疲れ果てて「何か食べて帰ろうよ…」になってしまいました。反省しています。(40歳)

## 灯油の高値、信じられな〜い

灯油が高い!でもやはり石油ファンヒーターが暖かいので使わずにはいられない。安いときの2倍ですから信じられません。(37歳)

## 不安いっぱいの中です

4回目の一部繰り上げ返済をしたので支出が大きくなりました。景気が回復しているといわれていますが、定率減税廃止の動きや消費税値上げの動きなど不安なことが多いので少しでも早く借金(ローン)が返せるよう頑張りたいと思います。(32歳)

## 夫のこづかいにメスを…

「必要なものは必要なのだから」と言い訳しながら家計簿をつけています。集計のあと罪恶感をもつのは私だけでしょうか?削減できそうなのは夫のこづかいだけです。(40歳)

## 身のまわりをシンプルに…

昨年末亡くなった父の49日忌があたり、一段落。母は認知症で私がすべてのことをせねばならぬ。

思いがけず、書類など整理されていた。私も55歳。息子たちは、遠方で暮らしている。当てにしないよう少しずつ身のまわりをシンプルにしていかなばと思った。(55歳)

### 偉大なり!長男の力!

長男が京都から帰り、同居することになった。夫がなくなり、義母と2人の生活から3人になった。義母(寝たきり状態)は私が働いている間は義妹とヘルパーさんで食事の介助をしてもらっている。長男と同居するようになって義母が自力でトイレまで歩いていくようになった。(58歳)

### 知って得しました

12年乗った愛車を三男に譲り、新車(軽)を購入した。車検まで1年あり調子のいい車なのでもう1年乗る予定だったが、三男の車が車検切れで限界のようなので思い切った。新車購入に当たり、各メーカーの車比較や購入時のチェックポイントの本を人から借りた。とても参考になった。購入時、当然のようにかかる納車費用は自分で販売店に取りに行くことで0に、車庫証明は自分で警察に行ったので実費の550円でできた。知って、得をしましたヨ!(54歳)

### 食事は大切!!

受験生の楽しみといったら食べることくらい。また、受験生の親がしてやれることで大切なのも食べる事です。今月は食費が少々高くなってしまいましたが、おかげで精神状態も安定し、健康状態もベストで受験することができました。できのほうは?ですが、どうか我が家にも春が来ますように。(51歳)

### 家計簿記帳で得たこと

生協家計簿モニター2年目です。丸1年家計簿をつけることができたことは私にとってスゴイことです。2年目にはいったことで要領もつかめて先月に引き続き今月も早々に集計することができました。1年間の集計で、結構お金を使っていると反省しました。とくに、食費を見直せるように努力したいと、日々、買い物のときに意識するようになったことが私にとっての収穫でした。(45歳)

### 子どもにもよい影響が…

元旦から家計簿を記入し始めて何とか2ヶ月が過ぎました。昨年までは1ヶ月弱くらいしか持たなかったのが、提出期限のある生協ひろしまのモ

ニターなので遅れてはいけないという思いで家計簿をつける習慣が身についたカナと思います。これからも提出期限を守って家計簿をつけ続けたいです。そして、項目別の見直しができるれば、良いのですが…。(私が、家計簿をつけているので長女(中1)と次女(小3)におこづかい帳をつけるように強く言うことができます。(37歳)

### 家計簿クリニックに参加しました。

家計簿クリニックに参加し家計簿をつけることの目的を再認識。これからの生活設計のためにも続けたいと思いました。(49歳)

### 子どもの成長が楽しみです

長男が大分での4年間の学生生活を終え、地元で就職も決定し我が家へ戻ってきました。4年前、学費と仕送りに不安になっていた夫と私です。昨春より長女も大学生となりダブル出費の1年でした。何とかなるものだなあ…。長男も奨学金とバイトで頑張ってくれ、今春からは生活費も入れてくれるそうです。子どもの成長はあつという間ですが、子どもがいるからこそ人生がさらに楽しいのだと思います。夫と力をあわせて子どもたちの成長を見守りたいと思います。(50歳)

### ついにわが家が!

ついに中古住宅を取得しました。かなりお得な価格だったため借り入れることなく払えたことも理想的でした。とはいっても、今月の支出はかなりの額になりました。実際に引っ越すのは、まだ来年のことですが、その間にどのような経費がかかるのか、新たに予算を立てて生活を見直していく必要があるなあと、今月の集計を見て思いました。(42歳)

### 出費続きです

10年乗っていた車がこわれました。洗濯機に始まりスタッドレスタイヤ、車検などで出費続き。背に腹はかえられないということで急にバイトをすることになり、子どもを保育園に預けることにしました。なるべくものを買わないように服もフリーマーケットなどを利用しましたが、それでもお金のない我が家には痛い出費でした。(35歳)

### ダイエットしなくちゃ!

子どもの習い事後のスイーツがこんなに(1万円強)家計を圧迫していたとは!!!しかも、体脂肪も11月から6%もUPしていました。何もかもダ

イエットしなければ!! (36歳)

### 記帳に工夫の2年目

モニターも2年目になる。締め切りがないとつい後送りにしてしまうと思うし、面倒くさくて項目分けもしないと思うので、これからめじめめのために続けて生きたい。細かく記入してあるとあとで見返すときわかりやすいし、統計もとれて分析できる。空欄に献立を書いて、栄養バランスや冷蔵庫の中身と共同購入の注文を考えるとというように工夫している。(35歳)

### 誤算

住宅ローンが終わり、余裕のはずなのにがんばって終わらせたため手持ちの余裕が全くなり精神的にキビシイ!!子どもの入学と後輩の結婚式に下関まで行くので「所持金ゼロ」になるのではないかとかなり不安です。支払いがすぐでないと思って生協やカード払いの買い物が多かったことも問題がありそう。気をひきしめなくては。(?歳)

### 社会保険に加入しました

パートではありますが、今月から夫の扶養をはずれ社会保険に入りました。結婚してからはじめて自分の保険証をもらいました。夫の給料の3分の1くらいしか私の給料はないのに所得税はあまり差がありません。夫の方の手当てもなくなり、扶養のままの方がよかったのだらうかと思いますが、社会保険に入っていれば何かあったときにはお金がおりたりするのでそのへんはよいのではと思っています。(38歳)

### 家にいなければ省エネ

前はボーナスがあったので預金がたくさんあると思ったが、月の給料だけだとほんの少ししか貯まっていないのだと金額を見て驚いた。また、光熱費の高いこと高いこと。今年というか12月・1月の寒さ、家に子どもといたら暖房をつけてしまう。私1人ならば服を重ね着したりするのだらうが…。来月は買い物を少し控えよう。3/1から職場へ復帰なので家で過ごす時間や買い物に行く時間が少なく今月よりも消費は少なくなるだらう。(39歳)

### 節約ができなくなっています

なんだかだんだん節約できなくなっています。ためいき。教育費も多いけどその他のもの、たとえば衣類は子どものものばかり。でも、小さくな

って(いえ、子どものほうが大きくなったのですが)すぐに着られなくなるので絶対に必要なのです。子どもがいて本当によかったと思いますが、子どもがいるかいないか、そして何人いるかで大きく違ってきますよね。(?歳)

### 私の名前をどこで?

先日、ユニセフの件で生協にお電話をしたところ、担当の方が私の名前をご存知でびっくりしました。「コープ委員をしているからかな?(もう、5年になるしなあ〜)」と「それとも総代をしているから?」と、いろいろ考えていましたが、もしかして「家計簿モニター」ですかね?(笑) 生協の組合員なんてたくさんいるだらうに私の名前を覚えていてくれてとても光栄ですが、配送担当のお兄さんと「悪いことできないわねえ〜」なんて笑いながら話した出来事でした。(32歳)

### 残念!

昨日の学習会『家計簿クリニック』の申込みをしていたのに、幼稚園の参観日と重なったため参加できませんでした。私自身、収入と支出のバランスがよくなく、毎月赤字・赤字補填している状態なのでいつか家計簿診断をしていただけたら…とっていました。参加できることを楽しみにしていたので残念です。また、次の機会に参加したいと思いますのでよろしくお願いします。(35歳)

### 払いすぎなのに、なぜかうれしい?還付金

確定申告に行ってきました。久しぶりに税金の還付金があるそうです。何か得をしたようであれしかったです。(73歳)

### 夫婦そろって元気が一番

地区のセンター祭で、夫はお茶(裏千家)で、私はコーラスで1日楽しみました。おたがい、いろいろ趣味を持っていますがそれぞれで元気で楽しめる事、幸せに思います。(66歳)

### 孫の成長を祈って

昨年、誕生した孫の初節句を祝い、お雛様を送る。その費用が65万円也。都会のマンション住まいにコンパクトなケース入りお雛様。孫が嫁ぐ日、一緒に持って行ってくれることを願いつつ。(64歳)

### 身のまわりの整理を

夫の姉が脳梗塞のため急死しました。64歳でした。数日前に孫を連れてわが家に来たので信じられま

せんでした。しかし、他人事ではないかもしれないと思うと、いろいろな書類などを家族がわかるようにしておく必要があるなと感じています。夫の母(96歳)と同居しているので、まだ自分の老後も

死のことも考えられない現状ですが、まずは身のまわりの不要なものの処分から始めようと思います。  
(61歳)

06年1月分P8の消費支出本年の計と対比に誤りがありましたので、訂正してお詫びします。

〈消費支出〉

(正)		費目	全体	20歳代	30歳代前半	30歳代後半	40歳代前半	40歳代後半	50歳代	60歳以上
消費支出計	本前対 年 比		503,720 420,805 119.7%	286,824 259,550 110.5%	349,552 327,515 106.7%	795,621 414,604 191.9%	410,996 394,882 104.1%	463,902 415,699 111.6%	511,483 540,594 94.6%	370,004 422,493 87.6%

(誤)		費目	全体	20歳代	30歳代前半	30歳代後半	40歳代前半	40歳代後半	50歳代	60歳以上
消費支出計	本前対 年 比		223,716 420,805 53.20%	104,753 259,550 40.40%	154,200 327,515 47.10%	499,635 414,604 120.50%	160,681 394,882 40.70%	183,334 415,699 44.10%	153,962 540,594 28.50%	97,885 422,493 23.20%

'06年2月分 家計簿集計表

〈世帯主の職種〉

広島県生活協同組合連合会

	全体	20歳代	30歳前半	30歳後半	40歳前半	40歳後半	50歳代	60歳以上
公務員	37	0	3	8	12	6	8	0
会社員	186	7	15	41	53	34	34	2
その他	18	0	1	2	4	4	5	2
無職	14	0	0	0	1	0	1	12
合計	255	7	19	51	70	44	48	16

	全体	20歳代	30歳前半	30歳後半	40歳前半	40歳後半	50歳代	60歳以上
調査世帯数	255	7	19	51	70	44	48	16
世帯主平均年齢	44.8	28.0	32.6	37.1	42.1	47.3	53.6	69.5
平均家族数	3.9	3.1	4.0	4.3	4.1	4.3	3.6	2.6

〈今月の食費(実平均)〉

	全体	20歳代	30歳代前半	30歳代後半	40歳代前半	40歳代後半	50歳代	60歳以上
〈食費〉	60,760	27,611	55,170	48,945	63,068	64,698	68,150	52,195
1. 主食	7,506	2,329	6,724	5,451	8,257	9,149	8,323	3,684
2. 副食・調味料(計)	31,145	17,462	25,635	23,800	31,671	31,811	36,688	30,621
3. 嗜好品(計)	11,537	4,857	10,919	7,672	11,573	12,509	13,372	11,989
4. 外食関係(計)	10,572	2,963	11,892	12,022	11,567	11,229	9,767	5,901
平均家族数	4.0	4.0	4.0	4.2	4.3	4.2	3.6	2.7
食費内訳記入者	140	1	5	23	32	34	32	13
総数	255	7	19	51	70	44	48	16

〈収入〉

			全体	20歳代	30歳代 前半	30歳代 後半	40歳代 前半	40歳代 後半	50歳代	60歳以上			
収入合計	本前対	年 年 比	553,528 509,658 108.6%	326,278 387,595 84.2%	382,127 417,717 91.5%	488,181 445,733 109.5%	582,736 513,354 113.5%	596,791 511,778 116.6%	612,924 589,052 104.1%	639,843 607,917 105.3%			
	給料	夫	本前対	年 年 比	375,681 356,515 105.4%	221,131 213,923 103.4%	319,470 328,110 97.4%	362,619 339,124 106.9%	446,862 409,638 109.1%	412,150 402,165 102.5%	399,921 404,880 98.8%	67,254 74,444 90.3%	
妻			本前対	年 年 比	57,931 61,333 94.5%	74,382 154,505 48.1%	35,141 23,732 148.1%	37,680 58,110 64.8%	67,615 64,422 105.0%	53,316 47,874 111.4%	92,703 99,213 93.4%	8,353 12,361 67.6%	
賞与	夫	本前対	年 年 比	8,992 5,132 175.2%	0 0	0 5,898 0.0%	8,662 4,186 206.9%	8,190 0	0 0	26,621 20,965 127.0%	0 0		
		妻	本前対	年 年 比	71 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	375 0	0 0	
年金	夫	本前対	年 年 比	25,302 26,317 96.1%	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	9,557 6,186 154.5%	374,576 330,262 113.4%		
		妻	本前対	年 年 比	7,156 10,208 70.1%	0 0	0 0	0 0	1,281 1,401 91.4%	0 0	4,596 852 539.5%	94,662 126,815 74.6%	
自家営業	夫	本前対	年 年 比	5,535 3,829 144.6%	0 0	3,504 17,435 20.1%	9,644 0	0 0	11,206 5,000 224.1%	7,500 7,442 100.8%	0 0		
		妻	本前対	年 年 比	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0		
家賃地代収入	本前対	年 年 比	1,332 797 167.2%	0 0	0 0	0 0	2,574 0	0 0	2,396 3,488 68.7%	2,775 2,111 131.4%			
パート・アルバイト 収入	夫	本前対	年 年 比	1,458 1,544 94.4%	0 0	1,564 0.0%	1,882 1,433 131.4%	86 234 36.6%	105 0	5,526 5,893 93.8%	0 0		
		妻	本前対	年 年 比	24,618 16,342 150.6%	18,708 2,500 748.3%	1,729 7,348 23.5%	41,373 17,144 241.3%	15,038 15,652 96.1%	35,542 19,789 179.6%	27,431 24,222 113.2%	4,404 6,003 73.4%	
同居の家族よりの収入	本前対	年 年 比	2,709 4,334 62.5%	0 0	0 3,636 0.0%	3,361 1,977 170.0%	929 1,094 84.9%	2,045 10,000 20.5%	5,125 6,926 74.0%	7,405 5,000 148.1%			
その他収入	本前対	年 年 比	42,744 23,309 183.4%	12,057 16,667 72.3%	22,282 29,993 74.3%	22,960 23,759 96.6%	※1 ※2 ※3	40,160 20,913 192.0%	※4 ※5	82,428 26,949 305.9%	31,173 8,986 346.9%	※5 ※5	80,414 50,921 157.9%

※1 / 簡易入院給付(76.5万) ※2 / 骨折保険金(32.3万) ※3 / 出産一時金(64万) ※4 / 学資保険満期(116万) ※5 / 保険給付(36万)

〈非消費支出〉

			全体	20歳代	30歳代 前半	30歳代 後半	40歳代 前半	40歳代 後半	50歳代	60歳以上		
非消費支出合計	本前対	年 年 比	132,215 125,707 105.2%	71,263 71,699 99.4%	99,721 98,139 101.6%	105,580 95,959 110.0%	140,668 138,130 101.8%	133,117 124,864 106.6%	191,236 176,881 108.1%	65,852 83,926 78.5%		
	1. 税金	夫	本前対	年 年 比	27,433 23,743 115.5%	10,491 11,650 90.1%	16,357 12,715 128.6%	18,123 11,377 159.3%	24,776 24,213 102.3%	37,735 29,736 126.9%	44,568 41,087 108.5%	9,566 14,368 66.6%
妻			本前対	年 年 比	102,738 98,637 104.2%	60,658 55,349 109.6%	80,023 81,525 98.2%	86,505 81,142 106.6%	113,357 110,980 102.1%	94,381 92,635 101.9%	143,570 134,143 107.0%	53,889 60,406 89.2%
2. 社会保障費	夫	本前対	年 年 比	53,010 50,342 105.3%	35,075 38,230 91.7%	46,055 41,586 110.7%	46,199 44,085 104.8%	57,870 53,452 108.3%	55,291 53,193 103.9%	65,721 63,033 104.3%	25,157 32,321 77.8%	
		妻	本前対	年 年 比	49,728 48,295 103.0%	25,582 17,119 149.4%	33,968 39,939 85.0%	※1 ※2	40,306 37,057 108.8%	※2 ※3	55,487 57,529 96.5%	39,090 39,442 99.1%
3. その他非消費支出	夫	本前対	年 年 比	2,045 3,328 61.4%	114 4,700 2.4%	3,341 3,898 85.7%	953 3,440 27.7%	2,535 2,936 86.3%	1,001 2,493 40.2%	※4 ※5	3,097 1,652 187.5%	2,397 9,152 26.2%
		妻	本前対	年 年 比								

※アマリケ部分は小計です。

※1 / 保険年払い(26.4万) ※2 / 学資保険年払い(30万) ※3 / 生保年払い(20.9万、20万、27.6万)  
※4 / 個人年金(23.6万、32.4万)

〈消費支出〉

			全 体	20歳代	30歳代 前 半	30歳代 後 半	40歳代 前 半	40歳代 後 半	50歳代	60歳以上
消費支出計	本前対	年 年 比	426,036 416,485 102.3%	220,808 209,710 105.3%	306,741 308,770 99.3%	322,197 309,341 104.2%	419,811 568,360 73.9%	575,979 427,674 134.7%	518,721 422,958 122.6%	325,306 292,693 111.1%
	食 費	本前対 年 年 比	58,886 60,047 98.1%	37,974 28,781 131.9%	50,499 46,699 108.1%	51,947 53,184 97.7%	62,922 64,441 97.6%	66,561 67,966 97.9%	63,298 66,418 95.3%	48,123 54,741 87.9%
住 居 費	本前対	年 年 比	127,415 122,028 104.4%	55,319 60,473 91.5%	89,547 85,612 104.6%	67,909 74,404 91.3%	142,190 238,086 59.7%	233,730 112,335 208.1%	134,733 62,248 216.4%	14,647 52,522 27.9%
	家賃・地代	本前対 年 年 比	116,348 105,137 110.7%	48,471 48,218 100.5%	※1 76,694 78,204 98.1%	※2 53,365 59,586 89.6%	※4 133,383 228,049 58.5%	※9 221,749 ※10 82,868 267.6%	※14 125,391 ※15 47,657 263.1%	2,381 15,632 15.2%
	住居費その他	本前対 年 年 比	11,068 16,891 65.5%	6,848 12,256 55.9%	12,853 7,408 173.5%	14,545 14,818 98.2%	8,807 10,037 87.7%	11,981 29,467 40.7%	9,342 14,591 64.0%	※22 12,266 36,891 33.2%
水道・光熱費	本前対	年 年 比	23,555 21,673 108.7%	19,025 18,166 104.7%	22,821 19,945 114.4%	22,417 18,886 118.7%	22,386 20,429 109.6%	24,250 22,478 107.9%	27,269 24,797 110.0%	22,097 26,782 82.5%
被 服 費	本前対	年 年 比	13,655 14,708 92.8%	3,491 6,095 57.3%	17,254 11,901 145.0%	12,877 13,428 95.9%	11,171 15,440 72.4%	12,421 15,737 78.9%	20,460 20,710 98.8%	10,151 4,846 209.5%
保健医療費	本前対	年 年 比	10,113 8,674 116.6%	3,324 3,016 110.2%	5,300 6,309 84.0%	8,439 7,027 120.1%	※5 12,331 8,791 140.3%	8,833 10,680 82.7%	6,598 8,756 75.4%	28,487 12,314 231.3%
理容衛生費	本前対	年 年 比	8,506 8,173 104.1%	15,157 7,988 189.7%	8,063 7,455 108.2%	6,609 5,652 116.9%	8,783 9,503 92.4%	6,440 7,528 85.5%	10,792 9,554 113.0%	9,784 8,548 114.5%
交 際 費	本前対	年 年 比	14,580 12,272 118.8%	2,547 7,555 33.7%	5,960 3,716 160.4%	4,913 7,324 67.1%	6,937 8,630 80.4%	9,418 11,113 84.7%	19,817 15,947 124.3%	※20 92,821 42,867 216.5%
交通通信費	本前対	年 年 比	19,928 18,780 106.1%	18,944 9,867 192.0%	20,663 16,487 125.3%	16,501 19,806 83.3%	17,686 17,061 103.7%	24,647 20,505 120.2%	24,378 21,728 112.2%	13,885 17,338 80.1%
	交 通	本前対 年 年 比	6,179 5,748 107.5%	7,235 333 2170.5%	5,690 4,004 142.1%	4,153 6,021 69.0%	5,227 5,348 97.7%	9,248 6,060 152.6%	7,198 6,110 117.8%	5,419 8,898 60.9%
	通 信	本前対 年 年 比	13,749 13,032 105.5%	11,709 9,534 122.8%	14,972 12,483 119.9%	12,348 13,785 89.6%	12,459 11,713 106.4%	15,399 14,445 106.6%	17,181 15,618 110.0%	8,467 8,441 100.3%
教 育 費	本前対	年 年 比	49,103 54,856 89.5%	13,315 6,512 204.5%	24,701 24,319 101.6%	36,589 38,204 95.8%	※6 48,372 ※7 60,062 80.5%	※11 71,310 ※12 80,079 89.0%	※16 73,778 ※17 85,614 ※18 86.2%	1,733 32 5377.9%
教養娯楽費	本前対	年 年 比	19,522 18,309 106.6%	6,793 9,508 71.4%	15,787 22,747 69.4%	22,790 15,368 148.3%	18,690 17,271 108.2%	12,772 14,670 87.1%	18,866 22,880 82.5%	43,276 23,696 182.6%
職業・主婦費	本前対	年 年 比	33,376 33,129 100.7%	22,916 22,497 101.9%	24,232 29,027 83.5%	28,501 31,390 90.8%	31,829 32,680 97.4%	39,460 37,437 105.4%	43,810 35,739 122.6%	23,091 31,630 73.0%
自動車関係費	本前対	年 年 比	41,702 40,962 101.8%	17,819 27,794 64.1%	19,095 33,656 56.7%	※3 40,201 20,744 193.8%	※8 32,452 73,128 44.4%	※13 63,373 24,876 254.8%	※19 57,789 45,028 128.3%	※21 16,392 14,238 115.1%
そ の 他	本前対	年 年 比	5,687 2,835 200.6%	4,183 1,458 286.9%	2,820 898 314.1%	2,505 3,925 63.8%	4,035 2,751 146.7%	2,762 2,270 121.7%	17,133 3,540 484.0%	819 2,929 28.0%

※1/住宅ローン(21.9万) ※2/住宅ローン(23.4万) ※3/車検(16万,22万) ※4/住宅ローン(300万,40万,33.2万,33.8万,38.5万,33.9万,22万,22.8万,20.7万,25.7万,26.1万,23.8万) ※5/入院(33万) ※6/中学入学(28万) ※7/専門学校前期(43万) ※8/新車代金一部(75万)  
 ※9/住宅ローン(22万,34万,38万) ※10/住宅取得(仲介手数料含む)(638万) ※11/高校入学金(21万) ※12/授業料(57.7万)  
 ※13/自動車購入(158.5万) ※14/改築(116万) ※15/住宅ローン(59万,46万,24.3万) ※16/子どもアパート(45万) ※17/マンション契約(25万)  
 ※18/自動車学校(25万) ※19/自動車(80万,92万) ※20/ひな人形(65万) ※21/車代残金(49.4万)